

Slovenia Monthly August 2021

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2021年9月6日



～8月の主なポイント～

- 内政：環境大臣及び法務大臣に対する不信任動議の提出
- 外政：ロガル外相のアフガニスタン情勢に関するEU臨時外相会合への参加
- 経済：コロシュカ地方部分高速道路建設開始
- コロナ：リュブリャナ空港で予防接種が可能に
- スポーツ：東京2020オリンピック大会スロベニア結果
パラリンピック、スロベニア人シューター銀メダル獲得

政治

【内政】

●シャレツ党首による左派政党協力の呼びかけ【12日】

マリヤン・シャレツLMŠ党首は、他の3つの中道左派野党に対して、次期総選挙後にヤンシャ首相の民主党(SDS)及び同党を支持する政党を除いた政権を発足するための協力の合意に署名するよう要請した。社会民主党(SD)及び左派(Left)は原則的にこれを歓迎したが、アレнка・ブラトウシェク同盟(SAB)はシャレツ党首の独演状態を批判した。

●IPCCの調査結果を受けて、中道左派の反対派が行動を促す【13日】

中央左派の4つの野党派閥は、スロベニアに関する国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)報告書の憂慮すべき発見と、温室効果ガス放出を削減するための措置について議論するために、議会の環境委員会の緊急会合を申請した。マリヤン・シャレツ・リスト(LMŠ)、社会民主党(SD)、左派(Left)、無所属グループ(NeP)、アレнка・ブラトウシェク同盟(SAB)は、国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)

による、スロベニアは世界平均の2倍の速さで温暖化するという最新の報告を懸念している。

●環境大臣及び法務大臣に対する不信任動議の提出【18日】

マリヤン・シャレツ・リスト(LMŠ)は、ヴィズヤク環境大臣及びディカウチッチ法務大臣に対する不信任動議を提出した旨を発表した。ヴィズヤク環境大臣については基本的な環境の原則を無視し、水についての法案を作成するに当たって専門家を排除したことについて、法律に違反していると非難した。ディカウチッチ司法大臣については、スロベニアからの欧州検察官が任命されていないこと及び、感染防止のための憲法違反の法律が承認されたことに対して沈黙していると非難した。

●次期選挙に向けての政党協力【30日】

与党民主党(SDS)が次期連立についての協力提案を発表したことを受けて、中道左派の野党は協力の可能性を否定した。現在連立与党を形成している新スロベニア(NSi)は、国の発展についてのビジョンを共有する党との協力にオープンであると述べ、現野党であるが与党との協力協定を結んでいる国民党(SNS)は、協力提案の一部に前向きである。

【外政】

●ヤンシャ首相とナウセーダ・リトアニア大統領、移民問題でリトアニアへの支援を呼びかける【1日】

1日、ヤンシャ首相とナウセーダ・リトアニア大統領は、不法移民によるリトアニアとベラルーシの国境での「進行中の重大な治安状況」において、リトアニアに支援を提供するようEU加盟国に呼びかけた。ヤンシャ首相はツイートで、EUの国境の保護は我々の共通の責任であると述べた。

●ヤンシャ首相、EU法はEU加盟国の憲法の上位法ではないと述べる【5日】

ヤンシャ首相は、ポーランドの報道機関PAPとのインタビューで、司法とEU法の優位性の問題について話し合い、EU法は国内法の上位法だが、加盟国の憲法の上位法ではない旨述べた。また、ヤンシャ首相は、各国の歴史的状況と出発点を理解することの重要性について述べ、「EU機関は、加盟国憲法上の秩序に反するものを加盟国に課す権利を有さない」とした。

●欧州委員長、エネルギーミックスを決定するのは加盟国であると述べる【6日】

6日、フォン・デア・ライエン欧州委員長は、新聞社デロとのインタビューで、スロベニアがクルシュコ原子力発電所の寿命を2043年までに延長し、第2原子炉を設置する計画に関する質問に回答した際に、どのエネルギー源を使用するかを決定するのはEU加盟国である旨繰り返し述べた。また、原子力発電所の運転または閉鎖に関する決定も、EU加盟国の管轄下にあると付け加えた。

●アフガニスタン情勢【16日、17日】

スロベニア外務省は、アフガニスタンの状況悪化について懸念を表明し、ツイッターに「暴力を終わらせ、一般市民、特に女性と子供を保護し、基本的人権の水準が守られなければならない」と掲載した。ヤンシャ首相は、アフガニスタンの混乱とタリバンへの近代兵器の引き渡しを「史上最大のNATOの敗北」とし、スロベニアはNATO加盟国として責任を共有していると述べた。

17日、ロガル外相は、アフガニスタン情勢に関してビデオ会議形式で開催されたEU臨時外相会合に参加した。同会合では、EU市民及びEU加盟国を支援したアフガニスタン国民のアフガニスタンからの退避について集中的に議論がなされた。ロガル外相は、EUはアフガニスタン国内で国際社会の活動を支援してきたアフガニスタン国民の保護と避難場所の提供について連帯を示す必要があるとし、アフガニスタンに

おける国連ミッションのより大きな関与と、人権と法の支配の尊重を確保することの必要性を強調した。

また、アフガニスタンとの将来の関係と移民問題の戦略的見解を含む、アフガニスタンに関するEUの議論と活動を継続及び強化することの重要性を強調した。

●ホイス内務大臣、移民問題に直面するリトアニアへの警察の支援を発表【19日】

ホイス内務大臣は、ミクレツ・スロバキア内務大臣と会合し、ベラルーシからの不法移民の問題について話し合った。ホイス大臣は、2人のスロベニア警察官がまもなくリトアニアに配置されると述べ、また、内務省はプレスリリースで、スロベニアの警察官がリトアニアの警察とベラルーシとの国境管理を支援するとした。

●オーストリア外相のスロベニア訪問【20日】

20日、ロガル外相はスロベニア訪問中のシャレンベルク・オーストリア外相と会談した。両外相は、両国間の素晴らしい二国間経済関係について満足を表明した。オーストリアはスロベニアにとって最大の投資国であり、第四の貿易パートナーである。また、両大臣は、オーストリアにおけるスロベニア人マイノリティ及び同地域における二国間協力、更に、新型コロナウイルスへの対応についても協議した。

ロガル外相はシャレンベルク外相に対し、2023年以降のクルシュコ原発の拡張計画について、率直な二国間対話の重要性を強調したほか、EU議長国期間のスロベニアの活動計画について説明し、特に9月初めにブルド・プリ・クラニューで実施予定の非公式外相会合においてアフガニスタン情勢を取り上げるとした。

●パホル大統領、ウクライナの領土保全への支持を表明【23日】

パホル大統領は、2014年にロシアのクリミア併合に関する国際会議クリミア・プラットフォームに出席し、ウクライナの領土の保全に対するスロベニアの支持を再確認した。パホル大統領は、新しく作られたクリミア・プラットフォームの共同宣言を支持し、ウクライナ・ロシア間及びEU・ロシア間の対話を呼びかけた。

●サツソーリ議長、アフガニスタンに関するヤンシャ首相の発言に反論【23日】

サツソーリ欧州議会議長は、ヤンシャ首相の「EUはアフガニスタンへの人道的または移民の回廊を開くことはない」との発言に反論し、EUの行動を決定するのはEU議長国ではないと述べた。また、サツソーリ議長は、「ヤンシャ首相にEUの機関と話し合うよう呼びかけ、次のステップを決定できるようにする。すべ

ての国がアフガニスタンで起こっている状況に関与していると感じており、連帯を示す必要があることは明らかである。」と述べた。

●ロガル外相のパレスチナ訪問【24日】

パレスチナ訪問中のロガル外相は、マーリキー・パレスチナ外相と会談した。両外相は、スロベニア・パレスチナ関係、EU・パレスチナ間の協力、パレスチナ情勢及び周辺地域情勢、スロベニアのEU議長国等について議論した。

また、ロガル外相はシュタイエ・パレスチナ首相を表彰した。シュタイエ外相は、中東平和プロセスにおけるEUの役割を重要視している旨述べた。

●マルタ外相のスロベニア訪問【25日】

25日、ロガル外相はスロベニア訪問中のバルトロ・マルタ外務・欧州相と会談した。スロベニア・マルタ外相会談は両国間の政治経済関係の深化、欧州及び多国間レベルでの協力の強化、地中海グループへのスロベニアの参加可能性及びその他の国際問題が話し合われ、主にEUの未来、スロベニアEU議長国の課題、特に移民問題及び欧州経済の復興について焦点が当てられた。

また、スロベニアは沿岸国として、将来的にはマルタが加盟している地中海のグループMED7に積極的に参加する予定であり、ロガル外相は、同非公式グループへのスロベニアの参加に対するマルタの支援に感謝の意を表明した。

両外相は、最近のアフガニスタン情勢により増加が予想される移民問題についても議論し、EUレベルで一貫性がありかつ持続可能な移民政策を可能にする「移民・難民に関する新たな取り決め(New Pact on Migration and Asylum)」に関する継続的な作業を支持した。

●米国上院議員代表団のスロベニア訪問【25日】

25日、ロガル外相は、スロベニアと米国の二国間関係を記念する「スロベニア・アメリカ友好の日(Slovenian-American Friendship Day)」への参加のために当地を訪問中の6名の上院議員代表団とワーキングディナーを行った。ロガル外相と上院議員代表団は、二国間及び国際社会におけるテーマを中心に議論し、両国間の絆が、戦略的対話などの新しいイニシアチブにより、ハイレベルでも目に見えて強化されたことに満足を表明した。

また、NATOの枠組みや、EU・米国間の関係強化による、強力な大西洋横断関係と同盟の重要性を強調した。さらに、西バルカン、ロシア、中国を含む地域的及び世界的な問題への対処に関して、緊密なヨーロッパ・米国関係の継続を支持した。また、両者はアフガニスタン情勢についても議論した。

●ロガル外相のデンマーク訪問【26日】

26日、ロガル外相はデンマークを訪問し、コフオド・デンマーク外相と会談した。両外相は、二国間関係の強化、スロベニアEU議長国優先事項の実施状況のレビュー、アフガン情勢を初め最近の国際問題等について協議した。

ロガル外相は、リデガール・デンマーク議会外交委員長、ラスムセン元首相／元NATO事務局長及びロジスティクス企業A.P.モラー・マエルスク社の役員とも会談した。

●ゾルチッチ議長のセルビア訪問【26日】

26日、ゾルチッチ国民議会議長は2日間のセルビア公式訪問を開始し、ダッチ・セルビア議会議長と会談した。両議長は、歴史及び欧州としての将来を共有する両国間の伝統的な友好関係に満足している旨述べた。

ゾルチッチ議長は、セルビア議会のEU加盟委員会及び外交委員会、現地のスロベニア企業の代表とも会談した。

●ヤンシャ首相、アフガニスタンの状況について米国上院議員と会談【27日】

ヤンシャ首相は、スロベニア・アメリカ友好の日を記念して、スロベニアを訪れた米国上院議員の代表団と会談した。首相府によると、会談では、アフガニスタンの状況や米スロベニア関係など、国際問題について話し合われた。また、スロベニアEU議長国、パンデミック、経済回復、西バルカンへのEU拡大の優先事項についても話し合われた。

●ロガル外相のスペイン訪問【30日】

スペイン訪問中のロガル外相は、アルバレス・スペイン外相と会談し、現在のEU及び国際問題について意見交換した。両外相は、移民問題、アフガン情勢、地域の安全保障、気候変動、新型コロナウイルス対策と経済復興等について協議し、違法移民の防止努力、アフガン情勢及びそれが違法移民に与える影響について両国が近い見方をしていることを確認した。

経済

【経済一般、指標・統計】

●スロベニアの失業率低下【4日】

雇用サービス(the Employment Service)が発表したレポートによると、7月にスロベニアで合計70,655人が失業者として登録され、6月から0.6%減少し、前年同月比で21%減少した。新たに登録された失業者数は6月から54%増加して5,443になったが、合計数は減少した。

●6月の産業生産高、前年比18.9%増加【10日】

スロベニアの産業生産高は、製造業、鉱業、採石業での好業績により、前年比18.9%増加した。統計局によると、生産量も月次ベースで増加し、5月と比較して1.6%、2019年6月と比較して5.2%増加した。上半期は前年比13.7%増となった。

【企業、産業の動向】

●「Petrol」、クロアチアで2番目の風力発電所を立ち上げる【4日】

スロベニアのエネルギー会社「Petrol」は、クロアチアに2番目の風力発電所を開設した。クロアチア南部のクニンの町の近くにあるリュバチには、9つのタービンがあり、年間約96ギガワットの電力を生成し、30,000世帯のニーズに対応している。同社は、2017年にクロアチアの海岸沿いの町シベニクの近くに最初の風力発電所を建設した。

●AGRAの開催【21日】

21日、AGRA(国際農業フェア)が開会した。2020年3月にコロナの流行宣言が発出されて以来スロベニア国内での初の大規模見本市の開催となる。29か国から約1,100の出展者が参加している。パホル大統領が開会式で挨拶し、気候変動に対応するために政府は農業関係者と協力しなければいけないと述べた。

●ブリティッシュエアウェイズの再就航【20日】

20日、ブリティッシュエアウェイズがリュブリャナ、ロンドン・ヒースロー間の就航を再開した。運航は毎週金曜・日曜の予定で、8月末は水曜・月曜にもフライトが追加される予定。

●コロシュカ地方部分高速道路建設開始【24日】

スロベニア北部のコロシュカ地方と既存の国内高速道路ネットワークとを結ぶ重要な高速道路の建設がスロベン・グラデツ付近で開始された。本件工事は、コロシュカ地方と南部のペーラ・クライナ地方を結ぶスロベニア最大の道路プロジェクトの第2セクションに

当たり、総工費約3千740万ユーロ、完成まで30か月が予定されている。

●ルカ・コペルの上半期の収益、純利益の増加【27日】

港湾オペレーターのルカ・コペルは、今年の上半期に1億1,470万ユーロの純売上高を生み出した。これは、昨年と同時期と比較して7%増加した。純利益は2%増の1540万ユーロ、EBITは3%増の1770万ユーロだった。

●「Petrol」の純利益が2倍以上になる【27日】

エネルギー会社「Petrol」は、同社の中間報告によると、売上高が前年比20%増の18億ユーロで、グループの純利益が140%増の4,900万ユーロを超えた。EBITDAは、2020年の同時期と比較して59%増加して1億210万ユーロとなり、調整後粗利益は44%増加して2億5,810万ユーロとなった。

新型コロナウイルス関連情報

●8月31日時点におけるスロベニア国内の新型コロナウイルスの感染状況【31日】

8月31日時点において、スロベニア国内で新型コロナウイルスへの感染が確認されている人数は累計267,962名で、死者は計4,778名となっている。31日時点での地域別の累計感染者は以下となっている。

地域	感染者数
スロベニア中心部	66,529
ドレンスカ・ベラクライナ地方	20,613
サヴィンスカ地方	35,187
ポドラウスカ地方	40,081
ゴレンスカ地方	28,061
ポムルスカ地方	16,316
オバルノ・クラシュカ地方	12,552
ゴリシュカ地方	13,394
コロシュカ地方	9,827
プリモルスコ・ノトランスカ地方	6,497
ポサウスカ地方	10,407
ザサウスカ地方	7,236

●リュブリャナ空港で予防接種が可能に【9日】

9日からリュブリャナ空港で事前予約なしで新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が可能になる。空港でワクチン接種を受けたい人は、月曜日（午前9時から正午）、水曜日（午前11時から午後2時）、金曜日（午後5時と午後8時）の週三回、ヤンセンのワクチンを接種できる。

●スロベニアが航空および海上乗客向けのデジタルPLFを導入【9日、12日】

スロベニアが16日から飛行機と船舶による到着客にEUのデジタルPLF（Passenger Locator Form）を導入すると民間航空局（CAA）が発表した。これを受けて、保健省はSTAに対して、（入国に際して）誰もそのフォームを確認することはないので、当面は強制とはならない旨述べた。国立公共衛生研究所は、フォームによる情報は感染の場合の連絡のために使用するとしている。

●ワクチン義務化についての世論調査【16日】

ドネウニク紙及びヴェテヘル紙が行った世論調査において、新型コロナウイルスのワクチン接種義務化について、47.7%が支持を表明し、47.1%が反対、5%超が立場の表明を拒否した。なお、調査対象の64%は既にワクチン接種済みである。接種義務化を支持する傾向が強いのは、職業訓練を受けた人達と60歳以上の人達となっている。

社会・文化・スポーツ

●ビーチバレーボール・ワールドツアーで男子ペアが銀メダル【2日】

リュブリャナで開催されたビーチバレーボール・ワールドツアートーナメントにおいて、スロベニアのアラン・コシェニーナ選手とロク・ブラチュコ選手のペアが銀メダルを獲得した。女子トーナメントでは、残念ながらスロベニアは予選リーグで敗退、チェコのペアが金メダルを獲得した。

●大型肉食獣を紹介するセンターがピウカに開設【2日】

スロベニアに生息する3種の大型肉食動物、ヒグマ、オオカミ、オオヤマネコを紹介するセンター「Center Dina」がピウカに開設された。本センターの開設は、肉食動物の保護と共存の促進を目的としたヨーロッパのプロジェクトCarnivora Dinaricaの一環であり、博物館は来館者に対してインタラクティブなコンテンツを提供すること。

●雹の嵐がジュジェンベルク地域を襲う【3日】

8月3日午後、南東部のジュジェンベルクとドヴォル地域に強い雹の嵐が襲い、特に農作物に大きな被害をもたらした。報道によれば雹の量は除雪車で取り除く必要があるほどだったとのこと。ウェブポータル24ur.comによれば、嵐は午後3時頃に猛威を振るい、この地域の今年の作物を完全に破壊したと報道されている。

●イタリア、スロベニア、クロアチアが量子通信を確立【5日】

イタリア、スロベニア、クロアチア間で完全に暗号化された量子通信の最初の公開デモが、G20デジタル経済大臣の会議中に行われた。3つのノードを接続する光ファイバーによって完全に量子暗号化された通信が可能になったのは歴史上初めてのとのこと。この技術は、光の個々の光子の交換を通じてリモートで確立された乱数のシーケンスである量子鍵を使用し暗号化する通信手段。

●2つのスロベニア製品がベスト・ローカル・フードギフト賞を受賞【7日】

スロベニアの2つの製品が、国際美食文化芸術観光研究所（IGCAT）が主催する第2回コンテストEuropean Food Gift Challengeで、「最高のヨーロッパ料理・食品関連ギフト賞」を受賞した。どちらの受賞製品も、スロベニアの地中海とカルスト地域から出品されたもの。「マグカップのカルストコモンズ」は、ハーブティー、指定された起源のアカシア蜂蜜のミニジャー、茶漉し付きの手作りカップを小さく包んだもの。

Luka BoltarのWoodLoveStoneコレクションには、石と木で作られた4つの台所用品のギフトとのこと。

●**国内外の観光客の増加【25日】**

統計局の最新データによれば、スロベニアの国内観光宿泊施設等は、7月に約767,500人の来訪および、230万人の宿泊を記録した。国内外の観光客の宿泊数は、7月に前年同月比55%増となり、横ばいになっている。観光客の54%はスロベニアに居住者で、46%は国外からの観光客であった。

●**パラリンピック、スロベニア人シューター銀メダル獲得【30日】**

スロベニアのパラ・シューター、ティルシエク選手が、東京パラリンピック大会の男子シューティング(エアライフル10メートル、立位)で銀メダルを獲得した。このメダルは、スロベニアにとっては記念すべき歴代パラリンピック50個目のメダルとなった。

東京2020オリンピック大会・スロベニア結果

7月23日から8月8日まで開催された東京2020オリンピック大会には、スロベニアから合計54名（バスケットボールの12名含む）の選手が参加しました。日本人選手が583名参加したのに対し、スロベニアという人口約200万人の小国から54名の選手が参加したということは、スロベニアではいかにスポーツが盛んであるか、ということの現れだと考えられます。

今大会においてスロベニアは金メダル3個（自転車ロードレース・タイムトライアル、カヌースラローム、スポーツクライミング）、銀メダル1個（女子柔道）、銅メダル1個（自転車ロードレース）を獲得しました。全86カ国の参加の中ではメダル順位としては31位という結果になりました。スロベニアの全成績は以下の表の通りです。表をご覧いただければわかりますが、あと少しでメダルに手が届いた、といった競技も多くあり、特に若手の選手で、本大会がオリンピックデビューとなった選手たちの今後が注目されます。

本大会では特に、スロベニア男子バスケットボールの初出場、本大会から正式種目となったスポーツクライミングなど、多くの名シーンが生まれました。皆さんのベストスロベニアシーンはどの競技だったのでしょうか？

競技	種目	選手名	結果
陸上	女子100m	Maja Mihalinec Zidar	予選敗退
	女子200m		予選敗退(シーズンベスト)
	女子棒高跳	Tina Šutej	5位
	女子3000m障害	Maruša Mišmaš Zrimšek	6位
	男子円盤投	Kristjan Čeh	5位
	男子400m	Luka Janežič	準決勝敗退
	女子400m	Anita Horvat	予選敗退
	女子5000m	Klara Lukan	途中棄権
水泳	女子800m自由形	Katja Fain	予選敗退
	女子1500m自由形		予選敗退
	女子400m個人メドレー		予選敗退
	女子100m自由形	Janja Šegel	予選敗退
	女子200m自由形		予選敗退
	男子400m自由形	Martin Bau	予選敗退
	男子800m自由形		予選敗退
マラソンスイミング	女子10km	Špela Perše	24位
ゴルフ	女子	Pia Babnik	34位
自転車	男子ロードレース	Tadej Pogačar	銅メダル
		Primož Roglič	28位
		Jan Polanc	43位
		Jan Tratnik	67位
	男子個人タイムトライアル	Primož Roglič	金メダル
	女子ロードレース	Eugenia Bujak	19位
マウンテンバイク	女子クロスカントリー	Tanja Žakelj	21位
セーリング	女子470級	Tina Mrak, Veronika Macarol	5位
	男子レーザー級	Žan Luka Zelko	26位
柔道	女子48kg級	Maruša Štangar	9位

	女子57kg級	Kaja Kajzer	5位
		Tina Trstenjak	銀メダル
	女子78kg超級	Ana Velenšek	9位
	男子66kg級	Adrian Gomboc	7位
カヌー・スラローム	男子カヤック(K-1)	Peter Kauzer	12位
	男子カナディアン(C-1)	Benjamin Savšek	金メダル
	女子カナディアン(C-1)	Alja Kozorog	12位
	女子カヤック(K-1)	Eva Terčelj	24位
カヌー・スプリント	女子カヤックペア500メートル	Špela Ponomarenko Janić, Anja Osterman	準決勝途中棄権
	女子カヤックシングル500メートル	Anja Osterman	17位
		Špela Ponomarenko Janić	20位
バスケットボール	男子	Jaka Blažič, Vlatko Čančar, Jakob Čebašek, Žiga Dimec, Luka Dončić, Zoran Dragić, Gregor Hrovat, Edo Murić, Aleksej Nikolić, Klemen Prepelič, Luka Rupnik, Mike Tobey	4位
アーチェリー	男子個人	Žiga Ravnikar	33位
卓球	男子シングルス	Darko Jorgič	5位
		Bojan Tokić	17位
	男子団体	Darko Jorgič, Bojan Tokić, Deni Kožul, Peter Hribar	9位
スポーツクライミング	女子複合	Janja Garnbret	金メダル
		Mia Krampfl	18位
シューティング	女子10mエアライフル個人本選	Živa Dvoršak	11位
	女子50mライフル3姿勢個人	Živa Dvoršak	7位
テコンドー	男子80kg超級	Ivan Trajković	5位
新体操	個人総合	Ekaterina Vedeneeva	予選敗退

スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせ等の情報を随時発信しております。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

★スロベニア人向けニュースレター「Living in Japan」のご紹介

当館では、毎月スロベニア人向けに日本紹介のニュースレター「Living in Japan (Življenje na Japonskem)」をスロベニア語で発信しています。今年は各都道府県に焦点を当てて、各地の歴史・産業・観光・物産品等を紹介してまいります。このニュースレターは当館のホームページでも公開しておりますので、どうぞご覧ください。

http://www.si.emb-japan.go.jp/Living_in_Japan.html

【領事班からのお知らせ】

●本年秋までに衆議院議員総選挙が実施される予定です。在外選挙人名簿の登録を行うと、海外にいながら、国政選挙に投票することができます。

海外からの投票方法として、「在外公館投票」のほか、「郵便等投票」が可能ですので、当地の郵便事情をご確認の上、ご活用ください。なお、「郵便等投票」の手続には一定の時間がかかります。投票用紙は、選挙の公示日を待つことなくいつでも登録先の市区町村選挙管理委員会に請求することができますので、「郵便等投票」をご利用の方は、お早めに請求してください。

【当館HP】: https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00458.html

●スロベニアに90日以上滞在される方は、在留届を提出してください。(※インターネットで提出をされると、変更届・帰国届けもオンラインで手続できるため、たいへん便利です。)

緊急事態発生時には、提出された在留届をもとに、大使館・総領事館が、安否確認・支援活動等を行います。

【外務省オンライン在留届】: <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

●新型コロナウイルス: 引き続き最新情報を入手し、感染予防に努めてください。当館HPでは、新型コロナウイルスに関する国内及び出入国規制等についてまとめたものを公開していますのでそちらもご覧ください。なお、規制は突然変更となる場合がありますので、最新情報についてはスロベニア当局にご確認いただくようお願いいたします。

【当館まとめページ】https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00037.html

【参考情報】

1. 外務省海外安全ホームページ

本サイトでは、各国・地域での新型コロナウイルスの発生状況、新型コロナウイルス(日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限)等の情報を掲載しています。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

2. たびレジ簡易登録

本サービスは、メールアドレスとメール配信を希望する国・地域を選択するだけで、当該在外公館から領事メールを受信することができます。ぜひご活用下さい。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register>

3. スロベニア国立公衆衛生局は、国内状況や感染予防の方法等について公開しています。

<https://www.nijz.si>

(主にスロベニア語)

4. スロベニア政府が、新型コロナウイルスに関する特設サイトを開設しました。コロナウイルスに関連した保健省の特設電話番号はこちらに掲載されています。

<https://www.gov.si/en/topics/coronavirus-disease-covid-19/>

5. 新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～(首相官邸)

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

6. 新型コロナウイルス感染症に関する情報について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

7. リュブリャナ空港ホームページ

<https://www.fraport-slovenija.si/en/Main>

8. スロベニア政府の下記のツイッターアカウント等で、随時情報発信が行われておりますので、こちらをご確認ください。

●政府(英語): <https://twitter.com/govslovenia>

●政府(スロベニア語): <https://twitter.com/vladars>
(英語版と若干内容が異なります。)

●外務省: <https://twitter.com/mzzrs>
(主にスロベニア語)

●保健省: <https://twitter.com/minzdravje>
(主にスロベニア語)

【広報文化班からのお知らせ】

●最新情報は、当館フェイスブックでチェック！

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia/>